

西中だより

平成28年度 No.6
平成28年 5月27日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 前期 生徒会総会終わる &&&

- 平成28年5月20日(金)の5・6校時に、前期生徒総会が体育館で開催されました。今年度の生徒会活動スローガンは「初志貫徹～未来へ羽ばたけ私たち～」です。生徒会長の溝井元輝君が「生徒全員が活動の目標として決めたものを最後までやり通す。そして、今よりも良い学校にできるよう努力し続けてほしいという思いから、このスローガンを決めました。」と、会長あいさつで述べていました。
- 総会では、まず、1号議案「平成28年度前期の組織とスローガン及び年間活動計画」が承認され、続いて2号議案「平成28年度委員会、部活動計画」、3号議案「平成27年度生徒会会計決算報告」、4号議案「平成28年度生徒会予算案」が、それぞれ承認されました。
- 総会の議事進行の様子を見ていて感じたことは、近いうちに選挙権が18歳に引き下げられることを受け、今からその準備をしなければならないということです。教科書で学ぶべきものと身近な生活の中で実感を伴って学ぶものが有るはずで、13歳から15歳は、非常に感じやすく真実を見抜く鋭い感性が働く年齢です。テレビで賑わすような、大人が小手先で相手をごまかすような手段は通用せず、真剣に向き合って話し合うことが大事だと。【平成28年度前期生徒会役員】<敬称略>

- ・会長：溝井元輝(3の3) ・副会長：清水天斗(3の2)、伊藤 啓(2の3)
- ・書記：遠藤 涼(3の3)、磯貝樹梨(2の1)・会計：羽生亮太(3の1)・監査：齋藤 茜(2の2)

- 次号では、各委員会の組織と活動目標を紹介します。

ー生徒総会の様子を写真で紹介しますー



《 校長のつぶやき 》・・・先人・偉人の教えをもとに生徒や保護者へ今の思いを伝えたい・・・

- ◇「話の分かる親、大人ではいけない。教える者、指導する者の言うことは、受ける側からすれば、『嫌な人、きれいな人』という表現になる。」「なぜなら、今より良くしてやろう、高い次元を目指そうという時は、言われること、させられることが、そのような感じ方にさせるのである。」ミュンヘンオリンピック男子バレーボール監督 松平康隆氏 - 今、まさに部活動がきついのは、支部大会が間近に迫っており、顧問や副顧問は何か大会まで力を伸ばしたいと強く願って指導に力が入っているからです。このような時は、練習がきついのは当たり前なのです。生徒諸君！ファイトです。そして、保護者の皆様、じっと見守ってください。-
- ◇「子どもは満たされ過ぎると、遊ぶもの。貧しい村の子どもは、一生懸命に、それこそ必死になって勉強する」「時間が自由にあるのは駄目で、与えられた時間が自由に使えるのが良い。」「いろいろな村へ行った時にまず学校を見ます。立派な学校を持つ村では、たとえ人々の住む家が貧しくとも事業は必ず成功します。反対に、学校が貧弱な村は、人々の住む家が立派でも、事業は成功しません。」黄土高原を緑にするプロジェクトNPOの人の話より - 説明は必要ないと思います。-
- ◇「信念(真心)を持ってやり遂げたことは、たとえ人が見ていなくても 己(自分)の自信になっていく。」あるラーメン店で、壁に貼られた紙から。-勿論、ラーメンはとびきり美味しかったです。-
- ◇「現在の人々は、ドーナツ型人間が多い。自分を見つめない(高めようとしない)で、他人と比較して周囲の人間ばかり見ている人が多い。」司馬遼太郎 -中学生になったからには、そろそろ自分の得意を見つけ(または気づかせ)、それに磨をかけ、人と比べることなく自分の自信にしてください。-

